

また、「沖縄が戦場になる」 って本当ですか!?

メディアが報道しない危機的状況を、
今、明らかにします。
今こそ、戦争をさせない平和外交を!

三上智恵監督講演 & 上映会

=今の“沖縄”最前線を語る! =



「標的の島」とは、沖縄のことではない。
それは今あなたが暮らす日本列島のこと。

2023年
2月12日(日)
松戸市民会館大ホール

開場 10:00

- ① 10:30 「標的の島」上映
12:45 三上智恵監督講演

開場 15:00

- ② 15:30 「標的の島」上映
17:45 三上智恵監督講演

前売り券

- *大人 1000円
- *障がい者 500円
- *高校生以下無料
- *当日券
(大人のみ 1200円)

*チケットあります 藤代政夫 090-2425-8983

※ 感染対策をしています。チケットに記名、マスク着用をお願いします。

主催/松戸「沖縄とつながろう!」実行委員会

杉見幸子 090-3248-3433
吉野信次 090-4606-9634



★「台湾有事」や「日本有事」にそなえて政府は沖縄にシェルターの配備を計画。これで安心できますか？

「台湾有事」は「日本有事」だとしきりに報道されています。今、大事なことは、シェルターをつくることでも、軍備を強化することでもなく、戦争をおこさせないことなのです。そのために必要なことは、平和外交の出来る日本をつくることではないでしょうか。

★岸田政権は、防衛費を2倍にし、11兆円以上にしようとしています。そのお金はどうやって作るの？

11兆円になると、アメリカ、中国に続き、世界第3位の軍事大国になるとか。それには、消費税を上げる、教育費（現在、日本の教育費は先進国で最低）を削る、社会保障費を削る、国民皆保険制度の見直しをするなど、次々国民に不都合なことが起きると言われています。

★なんでアメリカと日本は中国を敵視しているの？

アメリカは、アフガン・イラク戦争では、「テロとの闘い」を叫び失敗し、今度は「中国が主な敵」と方向転換しました。バイデン大統領は、「日本を巻き込まなければ中国には勝てない」と明言しています。だからこそ沖縄の島々に次々と自衛隊のミサイル基地が造られ、日米共同の訓練が日常化しています。

★ウクライナのように気がついたら戦争になってたなんてことに絶対しないために！

「台湾有事」が起きても「日本有事」にさせないためには、多くの国民が今の危機的状況を知ることが大切です。共に力を合わせて戦争への道を止めるための行動が求められています。

軍拡のための戦略ではなく、平和のための「構想」を！

「国家安全保障戦略等改定安保3文書」が閣議決定されました(2022年12/16)。日本のこれまでの防衛・安全保障政策=専守防衛を根本的に変更、日本の国のかたちそのものを転換させるものです。

改定安保3文書には、①敵基地攻撃能力(反撃能力)の保有:米国の巡航ミサイルトマホーク・陸自12式地对艦誘導弾のスタンドオフミサイルの保持②防衛費 GDP2%11兆円へ倍増、5年間で43兆円③5年以内に防衛力の抜本的強化④武器輸出全面解禁などが記載され軍拡一色です。

又、「中国の軍事行動はこれまでにない最大の戦略的挑戦」と規定し日米軍事一体化を推進。

市民グループは“平和構想の提言”を12/15に発表。

戦争ではなく平和の準備を

○改定安保3文書には、これまでの「専守防衛」をぶち壊してしまう“敵基地攻撃能力を保有”した自衛隊が日米共同の攻撃作戦計画の下で米軍と分担して攻撃を担う方針が示されており、日本の自衛隊が米軍の指揮下に入って戦争を戦う危険性が明らかになっていると批判。



○抑止論での軍拡は「安全保障のジレンマ」でますます危機を生み出す。“抑止論神話”から脱却し、平和を平和的手段によって達成することを安全保障論の中心に据えなければならない。

○日米一体で進む臨戦態勢(日米共同作戦計画など)が規定されているが、日米同盟一辺倒から脱却しアジア外交と多国間主義の強化を!そして人間の安全保障をつくる。と提言。

市民の側から、“軍拡のための戦略ではなく平和のための構想こそが求められている。戦争の準備ではなく平和の準備をしなければならない”と訴えています。

《藤代政夫記》